

## 2021年度事業方針及び計画

### 1.事業運営方針

- (1)2020東京オリンピックにOSAKA夢プログラム事業の7名の指定競技者から代表選考に勝ち残れるよう最大限の準備を図る。
- (2)第89回大阪陸上競技選手権大会などを主催し競技基盤を確保する。ワールドアスレチックス・コンチネンタルツアー・日本グランプリシリーズ第8回木南道孝記念陸上競技大会、第10回大阪マラソン大会を主催し、2023年2月AIMS世界総会の開催をはじめとする国際化の推進及び競技力の向上を図るとともに、スポーツを通じた大阪の都市魅力の発信に努める。
- (3)第105回日本陸上競技選手権大会、第41回大阪国際女子マラソン大会等の競技会を主管するとともに、内外主要競技会への役員・競技者派遣及びその他の陸上競技会に審判員を派遣し、競技会運営基盤を確保する。
- (4)公益財団法人日本陸上競技連盟、近畿陸上競技協会、公益財団法人大阪府スポーツ協会等の関係機関と連携し陸上競技の普及を図るとともに、大阪高体連陸上競技専門部などの協力団体と密接に連携し、競技役員の資質の向上、大会運営・審判技術向上を図る。
- (5)将来の大阪を担う若手競技者を発掘し、トップアスリートとなる競技者の育成を図る。
- (6)公益財団法人としての組織基盤を整備し、陸上競技を通じた社会貢献を深化させる。

### 2.事業計画

#### (1)選手強化育成事業等

長期的視点に立ち国際的に活躍できる競技者を育成するため競技力の向上を図る。関係機関・諸団体の協力のもと「OSAKA夢プログラム」事業の目標達成に向け最大限の努力を行う。第105回日本陸上競技選手権大会を主管し、ワールドアスレチックスコンチネンタルツアー・日本グランプリシリーズ第8回木南道孝記念陸上競技大会の国際化を進める。また、陸上競技の普及、競技力の強化を図るため各種競技会、強化練習会等を実施し、第69回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会の主管をはじめ別紙の競技会等を実施する。

令和3年度 大阪陸上競技協会が関係する競技会(別紙)

令和3年度 競技会 日程・行事予定(別紙)

#### (2)広報・情報化の推進

ホームページ等からの発信力を強化し、動画等によるコンテンツの多様化を図るなど広報活動を強化する。先進情報化技術を活用し、競技会の運営を高度化していく。

#### (3)普及育成事業

若年・初心者への普及を図るとともに世界的に活躍できる競技者を発掘、育成していくため、日本陸連及び各協力団体との連携し、競技者の育成・強化並、指導者の育成に取り組む。

#### (4)財政・組織強化

財務体質の強化を図り選手強化及び陸上競技の普及を持続的且つ強力で推進していける基盤づくりを進める。

### 3.中期計画の策定と推進

大阪を我が国における陸上競技の中心としていくため、中期計画に掲げる大阪陸協5か年計画を推進していく。2020年度から受託している障害者陸上教室を基礎として、アスレチックス・アカデミア構想等の具体化していく。